



# 未成熟な議案を提案？

## 教委事務局が教育委員会議で・・・11/4文教委員会

11月4日に、岐阜市議会文教委員会の閉会中審査が行われ、9月議会で否決された長良小学校プール建設削減補正予算（削減補正予算案は否決され当初予算に戻った）に関する「その後の教育委員会対応」の経過報告がされました。

説明で印刷物が配付され、1番に気になりましたのは、「資料1」「学校プールの在り方検討及び長良小学校立て替えの経緯」の記載でした。「学校プールの在り方」の上段R2の7月に「プールの在り方方針承認 教育委員会定例会」と記載されている事。

4日の文教委員会出席委員から「承認と記載されているが、教育委員会事務局は『プール建設を行わないと決定すること』は『3月市議会の議会方針と異なる決定になる』事を、参加された教育委員に、事前説明されて『承認』を貰っているのですか？」との質問ができました。至極当然の疑問です。議会方針と正反対の提案であると本当に理解されたよでの「承認」ですか？ と質問。

## 教委事務局 市議会の議決方針を事前説明せず？！

### 各教育委員は承知の上（議会と正反対は）のはずだ・・・事務局長

文教委員が何回質問しても「事前説明をしました」とのスッキリ答弁は無い。「十分承知（議会と正反対と）の上で、承認されたものと思います」（田中事務局長）と 答弁者の推察？ 感想？ を話すだけ。事務局が「誤解の無いように、事前説明を十分行いました」との答弁は、早川教育長からも田中事務局長からも、一言も聞かれなかった。さすがに、文教委員会で「嘘の答弁（事前説明十分したと）は出来ない」との事か。

では、教育委員会議では「どのような質疑が交わされた？」のか「委員の発言は、どうか？」（文教委員）と質問されると、『秘密会でして』（教育委員会事務局）

「秘密会？」「何で、秘密会にする必要があるのか？」と、会議場は騒然、呆れ顔の委員と傍聴者であられた。

揚げ句の果てに、「議案が未成熟でして」（事務局）『秘密会にしました』（事務局）とあっては、支離滅裂。その「未成熟の議案」提案で「長良小学校のプール建設断念」を教育委員会定例会は承認したことになり、住民説明会、9月議会への削減予算提案と流れが作られた事に。4日の文教委員会の質疑は、教育委員会事務局の責任を、（事情を知らされず承認した）「教育委員の会議」に転嫁しているように思えてならない。

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

## 補正予算否決 後に プール是非のPTA アンケート？

おもて面の質疑の他に「民間委託しても安くない（教育委員会の報告では）」や「教員へのアンケートで、水泳授業は得意か 訊く項目はナンセンス（どんな人間でも得意、不得意はある。仕事であり、得意だから仕事をしているわけではない）」等も。

常設の住民投票条例に反対した経緯があります。立命館問題を経験し、議会制民主主義を無視した首長の暴走に反対しました。「建設費削減」補正予算否決後に、「プール建設の是非」について教育委員会事務局が住民にアンケートを取ったとの情報が。

議会を無視した住民投票と思われる。これは、当初予算編成前の市民意向調査でも市場調査でもありません。議会決議後の議会承認を無視した『住民投票』と思われる。支離滅裂も極まれば。

## 朝日新聞が特集 10月30日版

### 映画「はりぼて」の地方議会

本紙10月5号で掲載「ドキュメント映画はりぼて」について、朝日新聞が10月30日に全紙版の特集記事を掲載しました。映画「はりぼて」の共同監督 砂沢智史（すなざわ さとし）さんと、五百旗頭幸男（いおきべ ゆきお）さんへのインタビューの形で報道されています。

「政活費不正を追求 取材重ね気づいた 皆が許してきたと」の副題。富山市議会で4年前、地元民放・チューリップテレビの調査報道発端で約半年間で市議14人が辞職。メディアによる権力監視について掲載。岐阜市でも、当時、同様な事件が発覚「白紙領収証の不正使用」等で議員1人が辞職。他にも、不適正事例が発覚し、多額の政務活動費返金。中日新聞の取材から元議長経験者の詐欺罪を検察告発などを経て、政務活動費領収証の岐阜市議会インターネット公開などが実現しています。

### なぜ、映画をつくったか！

記事後半で、五百旗頭さんは「富山にとって不名誉な出来事をあえて蒸し返しても当事者はもちろん、市民にも責任の重大さを考えてもらえる機会にしたかったからです。ネットや口コミで評判が広がり、全国から上映希望が相次いでいます。『チューリップさん、うちの町の議会も調べてほしい』と言う声を聞くと、地方議会の腐敗は富山だけの問題ではないんだと実感します。・・当初、市議会だけが、『はりぼて』だと思っていた。しかし、取材を重ねると、市当局や有権者も『はりぼて』だと感じるようになり、自戒をこめていえば、僕たちメディアも、また、『はりぼて』だったのです。」と答えています。

※ 御覧でない方は、ぜひ観て頂ければ。（松原のりかず）



松原のりかず  
☎058-253-2500